

令和3年度使用中学校教科用図書採択に係る選定理由書

種目	国語	第1：東京書籍	第2：光村図書
理 由	<p>対象となった4社4種類の図書は、いずれも基礎的・基本的な内容を定着させるため、学習目標や付けたい力の示し方、指導内容に創意工夫がされている。また、いずれも生徒の興味・関心を生かし、主体的な学びを引き出す工夫がされている。そのほか、内容の構成・配列・分量についても、いずれも教科横断的な教材を各学年に配置し、表現・表記についてもユニバーサルデザインに配慮し、挿絵・地図・図表なども創意工夫がされている。さらに、言語活動について、いずれの教科書も読書活動や情報の取り扱い方に係る単元において多様な活動例が設定されている。</p> <p>とりわけ、第1、第2図書は、主体的な学びを引き出す工夫として、振り返りにおいて「学んだことを自分の言葉でまとめる」よう示すとともに、読書単元を設定し、読書活動及び言語活動をとおして自己の振り返り等、主体的な学びが行えるよう配慮されている。また、第1、第2図書は、単元の扉等を活用して、伝統・文化についての知識・理解を進める工夫がされている。</p> <p>第1図書は、巻末に「学びを支える言葉の力」として国語科で付けた力の他教科や生活へのつながりが示してあり、主体的な態度で学習を進め、メタ認知を働かせるために、内容及び構成の面において工夫がされている。</p> <p>第2図書は、各教材末に設置された手引きが他社に比べ質・量ともに高く、スモールステップで学べるよう工夫がされている。</p> <p>しかしながら、第1図書では、振り返りにおいて学習状況を目標と照らし合わせて評価することについて記述されており、主体的な学びを引き出す意図が明確である点において優位である。</p>		

種目	書写	第 1 : 三省堂	第 2 : 東京書籍
理由	<p>対象となった 4 社 4 種類の図書は、いずれも写真により視覚的に姿勢や筆記用具の持ち方を示し、点画や筆使いの説明は 2 色を使用して筆の動きが分かるよう記載がされている。また、いずれも学習目標を明確にし、生活や他教科の学習の中で活用するよう活動が設定されている。さらに、いずれもカラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮がみられ、二次元コードを用い、インターネットで動画や音声を閲覧できる工夫もされている。生活に生かす視点をもって言語活動が設定されていることも、4 社に共通している。</p>		
	<p>とりわけ、第 1、第 2 図書は、書写で身に付けた知識・技能を生活の中で生かす活動を単元として設定し、他の 2 社に比べ、生活とのつながりが重視されている。</p>		
	<p>第 1 図書は、青い矢印で筆使いを示しており、他社に比べ筆の運びが把握しやすい。また、A 版で、毛筆での授業時に生徒の机におさまる。</p>		
	<p>第 2 図書は、本編中の各学年において書き初めが取り扱われ、書くときの姿勢を写真で示しており、伝統・文化の教育の充実に関する内容は他社に比べて量が多い。</p>		
	<p>しかしながら、A B 版の第 2 図書と比べれば、A 版の第 1 図書が毛筆での授業時に生徒の机に広げて置くことができるため優位である。</p>		

種目	社会（地理的分野）	第 1：東京書籍	第 2：帝国書院
理由	<p>対象となった4社の図書は、いずれも我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫として、領土をめぐる問題等に関する記載がされている。また、1単位時間は見開き2ページとし、タイトルの近くに「学習課題」を明確に示し、キャラクターが資料を読み取る視点を提示しながら、学習活動を促す工夫をしている。さらに、学習内容の定着を図るため、各章の終わりには、「まとめ」を行う学習活動を記載している。しかしながら、第1・第2図書は他の図書と比較して、内容の構成や学習活動の質で充実しており、また、既習事項とのつながりも分かりやすく示されている。</p>		
	<p>第1図書は、興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習した知識を使用して、その問いに対して理由を説明する「確認」まで構造化されている。このように基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための工夫がされており、小学校における既習事項の確認や他分野を意識した構成となっている。また、各章でまとめを行う活動では、知識を問う問題だけでなく、自分の言葉でまとめる活動に加えて、更に学びを深めるために、探究課題という学習活動があるなど、作業的・体験的な学習も充実している。</p>		
	<p>第2図書は見開き2ページに学習上、重要な語句を説明した「解説」がある。また、地理の基本的な技能を身につけるための、技能をみがくというコーナーがあり、教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させようとする工夫がみられる。</p>		
	<p>しかしながら、第1図書の方が、作業的・体験的な学習課題がより工夫されており、学習内容を深めるための手立てが施されている点で優位である。</p>		

種目	社会（歴史的分野）	第1：東京書籍	第2：帝国書院
理由	<p>対象となった7社の図書はいずれも1単位時間の内容を見開き2ページ分とし、学習課題として「どのように」「どのような」等の問いかけを記載し、その時間の到達すべき目標を分かりやすく明示する工夫がされている。また、どの教科書も、ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを採用するなど生徒の学習に配慮した標記や構成とする工夫や先生や生徒のキャラクターを入れて生徒が親しみやすくなるような工夫がされている。また、各所に二次元コードを入れてICTを活用した学習に対応できるようになっている。しかしながら、第1、第2の図書と比べ、他の図書は、章末のまとめ等について各時代の特色を文章で表現するのみのものが多く、探究課題に沿ってステップごとに生徒が主体的にまとめるところには至っていない。</p>		
	<p>第1図書は、内容本文のページについて、ほぼ全てのページを同一レイアウトとして見やすい構成にしている。また、グループで対話的に課題に取り組むコーナーを設定したり、章の学習のまとめとして、思考ツール等を用いて思考・判断・表現をさせるページを設定したりする工夫が見られる。</p>		
	<p>第2図書は、伝統や文化に関わるページに絵画・写真資料を大判等を用い4ページで示している。また、時代ごとの様子を表現する想像図を大判で入れて導入の学習活動を行いやすくしている。</p>		
	<p>しかしながら、第1図書の方が、生徒の主体的・対話的な学習活動を、各章の導入から、内容、まとめとより一貫して進められるようになっている点で優位である。</p>		

種目	社会（公民的分野）	第1：東京書籍	第2：帝国書院
理由	<p>対象となった6社6種類の図書は、共通して1単位時間を見開き2ページとし、「なぜ」「どのように」などの問いかけの形態で「学習課題」を示し、1時間ごとに追究する課題を提示している。重要語句は太ゴシックなどで表示するなど、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る工夫がされている。また、1単位時間のまとめや単元末などに文章表現などの言語活動を通して学習内容をまとめたり、深めたりする工夫がされている。さらに、公民としての基礎的教養を培うために、現代社会をとらえる見方や考え方も示している。しかしながら、第1・第2図書と比べると、他の図書は説明の文章が多すぎたり、さし絵・写真等の資料が不足していたりして、内容構成のバランスを欠いたものや興味・関心を持たせにくいものが見られる。また、発展的な学習内容も少なく、思考を深める問いや手立ても十分ではないものがある。</p>		
	<p>第1図書は、1単位時間を見開き2ページとし、興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習内容を整理する「チェック」「トライ」で構造化してまとめられており、基礎的基本的な知識の確実な定着が図れる工夫がされている。また、教科・分野関連マークを配置し、他教科や他分野との関連や既習事項との関連が図られている。学びやすい内容構成となっており、配列・分量とも適切である。また、資料や図が大きく、その数も精選されており、単元ごとに統一感を持たせた色調や落ち着いたある紙面構成や、用語解説など、全体的に学習者への細かな配慮がされている。さらに、中単元ごとに「探究のステップ」を設定し、単元末で整理・分析することで学習活動を振り返らせる工夫がされている。主体的に学習に取り組むための作業的・体験的な学習も多彩である。</p>		
	<p>第2図書は、基礎的・基本的な内容が精選されており、見開き2ページの内容構成も配列・分量とも適切である。特設ページ「アクティブ公民」などを設け、現代的課題についても十分に学習ができる内容構成となっており、さし絵・写真や図表等の資料が豊富である。</p>		
	<p>しかしながら、第1図書の方が、他の課題の提示の仕方やまとめの振り返り活動、主体的に学習に取り組むための作業的・体験的な学習において、より工夫が見られる点で優位である。</p>		

種目	地図	第 1 : 帝国書院	第 2 : 東京書籍
理由	<p>対象となった2社の図書は、生徒に基礎的・基本的な内容を確実に定着するよう創意工夫がなされていると共に、主体的な学習に取り組む工夫や地図の興味や関心を持たせる工夫がされている。また、歴史的分野等他分野での学習や地球環境問題を考えさせる学習にも活用できるよう工夫がされている。</p> <p>第1図書は、A4版で製本されており、全体を通して大判の地図が掲載されている。そのため、細部の表現が可能となっている。例えば、P.101の「大阪湾周辺の地形」やP.123の「東京都周辺の地形」では大都市の地形の変化が示されており、細かい高低差による土地活用の工夫や水害等による災害への備えについて掲載されている。</p> <p>また、各州の地図上で「同緯度・同縮尺の日本」が表記され、常に日本との比較ができるよう編集されている。さらに主体的な学習に取り組む工夫として、京阪神に加え、京浜地域の観光図も掲載し、修学旅行等の事前学習にも活用できるよう工夫している。さらに、地図読解のための統計資料や図版資料、模式図等に加え、二次元コードを世界各州と日本の地方ごとに掲載し、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを閲覧できるようにしているとともに、「地図活用」等の地図読解の着眼点の掲載もある。</p> <p>第2図書は、資料図に吹き出しを入れてキャラクターが話す設定にしており、資料読解の着眼点や思考を促す問いが分かりやすく掲載されている。また、地理学習にとどまらず、「歴」や「公」のマークを示し、歴史的分野や公民的分野における資料の掲載もある。さらに、「色覚問題研究グループぱすてる」の編集協力や特別支援教育の視点で校閲を行うなど、ユニバーサルデザインを考えた編集となっている。</p> <p>しかしながら、第1図書は第2図書（AB版）に比べて版が大きいA4版であり、掲載している地図の縮尺も総じて詳しいものになっており、細かく地図を読解させることが可能と考える。</p> <p>また、第1図書は版が大きいにもかかわらず520g未満（188ページ）であり、570gを超える第2図書（192ページ）より軽量であることから、通学時の携帯にも利点があると思われる。</p>		

種目	数学	第 1 : 東京書籍	第 2 : 日本文教
理由	<p>対象となった 7 社 7 種類の図書は、学習指導要領の趣旨をふまえ内容に偏りなく適切に取り扱っている。また、どの図書も基礎的・基本的な知識や技能の習得をめざして例題や問題を構成するとともに主体的な学びにつなげるための課題が精選されている。</p>		
	<p>第 1、第 2 の図書は、他の図書と比べて基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための具体的な手立て等、配慮があること、また、生徒の考察を支えるうえで効果的なデジタル教材、なかでも「データの活用」領域におけるデジタル教材を他社よりも備えていることから推薦する。</p>		
理由	<p>第 1 図書は、過去の全国学力学習状況調査の結果でみられた典型的な誤答例等をふまえ、生徒が同じ誤りを繰り返さないための工夫や配慮がみられる。また、すべての領域においてデジタル教材を備えており、文章問題の読み取りが困難な生徒に対して電子黒板上でアニメーションとして問題を提示したり、図形の問題に新たな条件を加えて即座に提示したりするなど、効果的な指導方法の広がり期待できる。</p>		
	<p>第 2 図書は、第 1 図書と同様、誤答例を示し、誤りを指摘する活動を取り入れており、また、すべての領域においてデジタル教材を備えている。</p>		
	<p>しかしながら、第 1 図書は、「図形」領域、そして新たな学習内容「データの活用」領域でのデジタル教材が特に充実している。また、小学校との連続性を保つため 0 章が設定され、中学 1 年生の理解を深めることができる。この点で第 1 図書に優位性が認められる。</p>		

種目	理科	第 1 : 東京書籍	第 2 : 啓林館
理由	<p>対象となった 5 社の図書は、内容の配列・分量、内容の表現・表記に違いはあるが、構成について次のような工夫がされている。</p>		
	<p>基礎・基本の定着については、重要語句の表記の仕方に工夫があり、単元の最後に学習した内容を確認する問題を取り入れている。主体的に学習に取り組む工夫では、それぞれの内容に工夫が見られる。内容の構成・配列・分量では、伝統や文化についての内容や他教科との関連が記述されている。内容に表記・表現では、写真と模式図を併記し比較する工夫がされていたり、会話のイラストを取り入れたりしている。言語活動の充実では、話合いの仕方について、詳しく記述がされている。しかしながら、第 1、第 2 の図書と比べ、他の図書は、単元のまとめが十分でなかったり、主体的な学習につながる単元を貫く課題が具体的に設定されていなかったりしているところがある。また、第 1、第 2 の図書は、生徒が理解しやすいように資料の提示が工夫されており、主体的に学習が進められるよう工夫がされている。</p>		
理由	<p>第 1 図書は、巻頭部分で探究の進め方をイラストと解説用いながら説明し、話合いや発表の仕方などの内容を示しことで言語活動の充実を図っている。また、各章の最初と最後に課題が提示されており、学習前後の変化を比較させ、結果を発表させることで、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。さらに、授業の流れを見通すことができるフローチャートを示し、探究の流れが分かるよう工夫がされている。</p>		
	<p>第 2 図書は、巻頭部分で探究の過程が図と解説で示してあり、巻末に話合いと発表について手順を示す工夫がされている。また、各章の最初に身近な事象の課題を設定し、学習後に再度振り返る工夫がされている。</p> <p>しかしながら、第 1 図書の方が、生徒が理解しやすいように、教材や資料をジャンル・分量ともにバランスよく精選して取り入れている。また、探究の進め方に沿って学習内容が展開できるよう工夫がされている点で優位である。</p>		

種目	音楽（一般）	第1：教育芸術社	第2：教育出版
理由	<p>対象となった2社の図書は、生徒の興味・関心を生かし、基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育成するため、それぞれに学習方法が工夫され、多様な学習ができるように工夫されている。</p>		
	<p>第1図書は、発声について3学年にわたり発達段階に応じて段階的に示されていることや、楽典の学習においてゲーム的要素を取り入れて生徒の興味関心を高め、反復学習ができるよう工夫されていることなどから、基礎・基本の定着を重視した工夫が見られる。</p>		
理由	<p>鑑賞教材の選択も、色々なジャンルが網羅されており、音楽のイメージを印象強く感じ取らせるような大きさや色鮮やかな写真、挿絵を入れるなどの工夫が見られる。</p>		
	<p>第2図書は、それぞれの曲のねらいが明確に示されている。歌唱教材では学習活動のポイントも示され、イメージを膨らませながら多様な音楽活動ができるように工夫されている。創作教材では、「音のスケッチ」において系統的・発展的に学習できる内容となっており、生徒が創作した作品を直接記入することができる。</p>		
理由	<p>鑑賞教材については、掲載楽曲が多く、また比較聴取もできるよう工夫されている。折り込み資料は全体像がつかみやすい。さらに、「音楽を形づくっている要素」が1ページに示されており、楽曲を聞いてそれらの働きに注目させる工夫がされている。</p>		
	<p>しかしながら、第1図書の方が、より共通事項を押さえながら教科内容が具体的に記述されており、基礎・基本が確実に定着できるよう工夫されている。また、楽譜、写真などが大きく掲載され、視覚的に生徒の興味・関心を引く工夫もなされており、生徒が協働しながら学習を進められるような配慮が見られる。東広島市は伝統的に合唱指導に力を入れており、第1図書の方が指導の展開において活用しやすいと考えられる。また、ICTの活用を想定した二次元コードが使いやすく掲載されており、今後タブレット等の情報端末を活用して生徒個々が学習を深めたり、他者とコミュニケーションを取る活動をしたりする等、より多様で主体的な音楽の学習活動を展開できる可能性が感じられる。</p>		

種目	音楽（器楽合奏）	第 1：教育芸術社	第 2：教育出版
理由	<p>対象となった 2 社の図書は、基礎・基本の内容を確実に定着させるために、生徒の興味・関心を高めるように写真やイラストを多く使い、段階的に習得できる工夫がされている。また、問題解決的な学習についても、生徒の実態に応じた多角的な教材選びや創造力を伸ばすための工夫がされている。</p>		
	<p>第 1 図書は、各楽器の構造・種類・奏法・構え方・運指などの確に提示されている。授業を進めていく上で、生徒が主体的に器楽奏法に取り組むためにページ下に奏法など様々なポイントを示したり、二次元コードを表示する等工夫したりしている。また、生徒が協働しながら学習を進められるよう、「アンサンブルセミナー」を設定している。また、打楽器についての説明が充実している等、資料としても写真が多く、イラスト等も使い視覚的な効果を十分に意識した工夫がされている。言語活動においては「深めよう音楽」で話し合う場面が設定されている。</p>		
理由	<p>第 2 図書は、基本的な演奏が各楽器均等に、曲に応じて構え方や奏法などが提示され、マスターできるようになっており、演奏のポイントが楽器ごとに示されている。リコーダーについては、運指が楽譜のすぐ横に示されており、息のコントロールについて腹式呼吸の方法の記述もされている。問題解決的な学習については、「音楽のスケッチ」として他者との協働を促す教材が設定されている。また、「名曲旋律集」としてクラシック音楽の有名なメロディを掲載したり、管楽器と弦楽器を比較鑑賞して楽器の特徴を捉える等の工夫がされている。言語活動については、音楽の見方・考え方を交流する「話し合おう」が設定されている。</p>		
	<p>しかしながら、第 1 図書の方が、打楽器の紹介が充実している等、紹介されている楽器の種類が多く、写真やイラストなども生徒に興味・関心を抱かせる配慮が見られる。また、生徒が主体的に学習をする上で補助となる楽器奏法のポイントの記述や、二次元コードが表示されており、生徒の主体的な学びを引き出す工夫がされている。また、二次元コードについては今後 ICT 機器を活用した主体的な学習を推進する上で学習効果が期待できると考えられる。</p>		

種目	美術	第 1 : 光村図書	第 2 : 日本文教出版
理由	<p>対象となった 3 社 3 種類の図書は、観点 1（基礎・基本の定着）においては、題材ごとに「学習目標」を示すなどの工夫がされている。また、観点 3（内容の構成・配列・分量）の（構成）においては、それぞれ特色がみられ、（配列・分量）にも偏りがないう工夫がされている。また、観点 4（内容の表現・表記）においては、参考作品を原寸大で鑑賞することができるなどの工夫がされている。また、観点 5（言語活動の充実）においては、それぞれ「思考力・判断力・表現力」の育成に資する言語活動の工夫がされている。</p>		
	<p>しかし、第 1、第 2 図書と比べ、他の図書は、観点 2（主体的に学習に取り組む工夫）において、教科書内で関連する内容のページを示したり、二次元コードを掲載したりして資料コンテンツを用意しているものの、生徒の主体的な学びを引き出すような視覚的な工夫にももの足りなさがある。</p> <p>第 1 図書は、「生徒が主体的に学習に取り組む工夫」として、題材ごとに「授業が見える」構成となっており、トレーシングペーパーを用いるなど「表現」と「鑑賞」を一体的に学べるように工夫がされている。また、二次元コードを掲載し、技法動画、音声ガイド、360 度動画、全国の生徒作品を用意している。</p> <p>第 2 図書は、魅力的な図版や制作過程などを紹介し、生徒が主体的に学習に取り組める工夫がされている。また、二次元コードを掲載し、学習を深める工夫として、鑑賞や表現の幅を広げる 360 度動画やスライドショーを用意している。</p> <p>しかし、第 1 図書の方が、表現と鑑賞を一体的に学習するための工夫がより見られる点で優位である。</p>		

種目	保健体育	第 1 : 大修館	第 2 : 東京書籍
理由	<p>対象となった 4 社の図書は、授業内に本時の学習を振り返らせる場面や、各章末に振り返り問題を設定するなど基礎・基本の定着や、カラー写真や挿絵を効果的に取り入れて興味・関心をもたせる工夫がされている。また、主体的に学習へ取り組む工夫として、ウェブサイトやデジタル教材を活用して学びを深める活動を取り入れる等の工夫がされている。しかしながら、第 1、第 2 の図書と他の図書を比べると、次の 3 点に違いがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 振り返り問題の充実 (2) 日常生活や自分自身にかかわる事例への取り組みやすさ (3) 主体的・対話的で深い学びの実現しやすさ <p>以上の点から、第 1・第 2 図書を選択した。</p> <p>第 1 図書は、次の 3 点において、第 2 図書に対しての優位性が認められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 各章の終末にある問題が、育成を目指す資質能力の三つの観点にそった構成になっており、知識・技能の定着度、学習活動への取り組み方など、学習の成果を振り返る内容が充実している。 (2) イラストや図を有効に使って気付きや思考を促し、授業のはじめに本時の課題を明確にする工夫がされている。 (3) 生活や人生、社会に生かす事例やコラムにより、保健の見方・考え方を働かせた学びにつながる内容が充実している。 		

種目	技術・家庭（技術分野）	第 1：東京書籍	第 2：開隆堂
理由	<p>対象となった 3 社の図書は、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する学習内容を多く取り入れている。また、パソコンと連動したデジタル教材の充実を図り、写真やイラスト、グラフを多く用いて、生徒の興味関心を高めている。しかしながら、第 1・第 2 図書と比べ、他の図書は、内容の構成・表示の工夫が十分とはいえない。</p>		
	<p>第 1 図書は、基礎・基本の向上のために、基礎問題と重要語句のリストを掲載し、学習の定着が図られるよう工夫されている。また、基礎的な技能は、写真やイラストを見るだけで分かるようにしており、問題解決学習に際してはより実践的な課題について考えさせるなど、主体的に取り組むことができるよう工夫がされている。</p>		
	<p>全体を通して、話し合い活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を高めるようにしているとともに、技術分野特有の言語活動が丁寧に示され、また思考ツールを利用して考えを整理する活動が設定されている。</p>		
	<p>第 2 図書も、重要語句のリストを掲載し、学習の振り返りができるよう工夫されており、基礎的な技能は、写真やイラストを活用して理解の一助となるよう配慮している。文章を読んだ上で自分の考えをまとめていくことや、問いを生徒に示し説明させ、言語化する能力を養うよう配慮している。</p>		
<p>しかしながら、第 1 図書の方が、各学習内容、各節において思考ツールを使って言語活動の充実を図っており、主体的、協働的に学習を展開する上でより工夫が見られる点で優位である。</p>			

種目	技術・家庭（家庭分野）	第 1：東京書籍	第 2：教育図書
理由	<p>対象となった 3 社 3 種類の図書は、家庭生活に関する基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるために、写真やイラストを多く用いて生徒の興味や関心を高めるとともに、作業工程などがイメージしやすいように二次元コードにより動画や写真を活用できるよう自分の課題への取り組み方を掲載しており主体的に学習に取り組む上での工夫が見られる。しかしながら、第 1、第 2 図書と比べ、他の図書は、動画のみで音声等による解説がなくわかりやすいとは言えない。</p> <p>第 1 図書は、五大栄養素と 6 つの食品群の関連を折り込みページで示し、関連が分かりやすく工夫されている。また、新設された「蒸す調理法」について、蒸し器がない場合の蒸す調理法を紹介されており、現代の家庭を意識した掲載があるなど、学んだ基礎的な内容を、日常生活での実践を促す展開になっている。さらに、ユニバーサルデザインの観点から、二次元コードを巻末に一覧としてまとめるなどの配慮がある。</p> <p>第 2 図書は、章ごとに統一したステップで課題解決の流れを示したうえで、複数の課題例が示されており、生活の課題と実践のテーマ決めのヒントになるよう工夫が見られる。</p> <p>しかしながら、第 1 図書の方が、家庭科の学習を、生徒のこれからの生活を展望した、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識・技能の習得につなげる視点でまとめられている点で優位である。</p>		

種目	英語	第 1 : 三省堂	第 2 : 東京書籍
理由	<p>対象となった 6 社の図書は、生徒に興味・関心を持たせる題材や絵・写真を豊富に用い、親しみやすい表現・表記になるよう構成が工夫されているとともに、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、いずれも学習の到達目標を具体的に示している。また、二次元コードにより収録された音声をもとに主体的な学びを促している。さらに言語活動の充実についても、数単元のまとまりごとに習得したことを活用させるためのタスクが設定されている。とりわけ、第 1、第 2 図書は、他社の図書と比べて基礎・基本の定着を図るため、文法事項のまとめや練習を繰り返し行うことができるよう配列に工夫が見られるとともに、活動の段階性やつながりへの配慮に富んでいる。また、4 技能を統合した活動が設定されている単元も十分にある。</p>		
	<p>第 1 図書は、見開き構成とし、学習する内容が一目でわかるよう工夫がある。小学校で体験した場面や似た状況での対話や発表を聞き、円滑な中学校への学習につなげる工夫がある。さらに、1 つの単元の中に、基礎的・基本的な事項の習得とそれらを活用するための題材が設定されており、4 技能「聞く・話す・読む・書く」それぞれの特色を生かした形で配置され、学習の段階がつかみやすい構成となっている。また、単元毎のまとめ、イラストによる文法事項の説明、巻末の語彙リストなど、生徒が自らの課題に応じて主体的に学習に取り組むことができるよう工夫が多様である。</p>		
	<p>第 2 図書は、目次に各単元の活動目標を具体的に示しており、学習の見通しを持ちやすくする工夫がある。Unit 0 による小学校の音声中心の学習に配慮し、十分な接続期間を取り、円滑な接続を図っている。また、単元のまとめの言語活動において、生徒が学習の到達度を自己評価しながらスモールステップで取り組み、4 技能を統合的に活用できるよう、内容及び構成が工夫されている。さらに、二次元コードにより収録された音声や映像をもとに興味・関心を引き出す工夫がある。</p>		
	<p>しかしながら、第 1 図書の方が、週 4 時間の指導時数での学習に適切な内容構成・配列・分量になっているとともに、主体的な学習や多様な言語活動に対応するための題材が多く設定されている点で優位である。</p>		

種目	道徳	第 1 : 東京書籍	第 2 : 日本文教出版
理由	<p>対象となった7社の図書は、中学校学習指導要領「特別の教科道徳」の目標に基づいて内容や構成が考えられている。とりわけ、道徳の教科化にともなった「考え、議論する道徳」を実現するために、巻頭部に道徳の学び方や話合いの仕方等のオリエンテーションを設定したり、個人で思考するためのヒントが示されたり、他者の意見を書き込む欄が設けられたりしている。また、キャラクターや吹き出し等を使って、親しみをもたせようとする工夫が見られる。資料の選定についても厳選され、読み物資料の他に状況を示す絵を基に自由に意見を出させる授業や役割演技を取り入れた授業など、多様な展開が期待できる。</p>		
	<p>しかしながら、5つの観点を吟味していくと、ねらいに迫るための発問が精選されていないもの、考え、議論する時間の確保が課題になる可能性をもつものがみられた。こうした調査結果を踏まえて、考え議論する道徳、多面的・多角的な見方へと発展させる道徳の実現の面から、第1、第2図書を選択した。</p> <p>第1図書は、話合いの手引きや役割演技を促すコーナーの設定等、生徒の多様な価値観を引き出し、他者と共有するための議論につなげる工夫がされている。また、資料末に示された問いも2つ程度に精選されており、生徒の実態に合わせた授業展開が期待できる。さらに、人間としての生き方を深く考える多様な教材が用意されていることで、道徳と実生活をつなげ、現代的な諸課題への対応について考えさせる効果もある。こうしたことから他の図書よりも優位性が認められる。</p> <p>第2図書は、学び方を深める手立てとして、道徳科の学び方を写真で示したり、役割演技の活動場面を示したりするなどの工夫がある。また、資料末に示された問いも2つに精選されており、人間としての生き方を深く考える工夫がある。さらに、問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的な学習に適した教材が3年間を通して体系的計画的に配置されており、質の高い多様な指導が期待できる。</p> <p>しかしながら、第1図書は第2図書と異なり、教材冒頭に主題名がなく、生徒の自由な発想を促す点で優位である。</p>		

